

平成30年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第4学年

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○読書に対する関心、意欲の高い児童が多いが、読書量には個人差がある。</p> <p>○文章を読んだり書いたりする学習や、大事な情報を落とさずに聞く学習が苦手な児童が見られる。</p> <p>○書く力、特に漢字の習得に個人差がある。</p>	<p>○学期ごとに設定されている目標ページ数を達成する。</p> <p>○大事な情報を落とさず、正しく書いたり、聞いたりする力を身につける。</p> <p>○文字、特に漢字を正しく覚え、正しく読む力を育てる。とめ、はね、はらい、文字のバランスを意識して書く力を育てる。</p>	<p>○アニメーションを行ったり、読み聞かせを行ったりすることで読書に対する関心や意欲を継続させる。</p> <p>○文章の中で重要な部分に気が付けるように線を引いたり、互いに確認させたりする。</p> <p>○漢字を正しく習得させるために漢字ドリルを活用したり、定期的に漢字テストを行ったりする。また、普段から文字を丁寧に書くことを指導する。</p> <p>○宿題を通して家庭学習と連携し、苦手な部分の克服を図る。</p>		
社会	<p>○自分たちの住んでいる東京都に関して、関心・意欲をもって学習に取り組んでいる。</p> <p>○資料の読み取りや考察が不十分で、課題に対する取り組みが浅い児童がいる。</p>	<p>○年間を通して、東京都について様々な知識を得られるように学習を進めていく。</p> <p>○地図の見方や資料の読み取り方など基本的な力を育て課題に対する考察力を育てる。</p>	<p>○「わたしたちの東京都」を使用し、映像資料やパンフレットなども活用しながら、東京都に関する知識を身に付けさせる。</p> <p>○実際に地域に出て自分の目で見たり質問したりすることで、体験的な地域学習を行う機会を増やす。</p>		

	<p>○インターネットを使った調べ学習に、意欲的に取り組むが、情報の正確性に対する意識はまだ低い。</p>	<p>○インターネットは便利であるが、正しい情報を活用する必要があることを伝え、メディアとの関わり方についても指導する。</p>	<p>○資料の読み取りや学習のまとめで、分かったことや思った事を交流させ、個々の気づきを広めたり深めたりする。また、教師から、情報モラルについての指導も行う。</p>		
算数	<p>○正確に計算できる児童が多いが、かけ算があいまいな児童もいるなど、既習事項を含めて、基礎・基本の定着に差がある。</p> <p>○文章問題から正しく立式できない児童がいる。</p> <p>○三角定規やコンパス、分度器を使った図形の作図に関して個人差がある。</p>	<p>○学年に応じた基礎的・基本的な学力を身に付けられるようにする。</p> <p>○問題の内容について、正しく理解し、解決できるようにする。</p> <p>○正確に計算したり、図形を描いたりする児童を育てる。</p>	<p>○計算間違いを防ぐために見直しや検算を家庭学習など様々な場面で行うことで、習慣を身につけさせる。また、習熟度別少人数指導を通して、苦手な児童に対して個別指導や児童同士の学び合い学習など細やかな支援を行う。</p> <p>○問題に出てくる数字を取り出し、数字と数字の関係について、数直線や図、絵に表現して理解を深める。</p> <p>○作図の指導は十分に時間をとり、場合によっては個別指導を行う。また、東京ベーシックドリルを活用する。</p>		
理科	<p>○観察や実験に関しては、意欲的に活動する児童が多い。</p>	<p>○学習内容への興味関心を高めると共に、実験や観察の結果を正確に記録する児童を育てる。</p>	<p>○観察や実験などの体験活動を多く取り入れる。</p> <p>○学習課題を自ら設定できるように、導入で児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行う。</p>		

	○観察や実験から分かったことをまとめたり話し合いをしたりすることを苦手とする児童が見られる。	○学習課題について、自ら疑問をもち、結果や分かったことから次への疑問や課題を導き出すことができる児童を育てる。	○実験結果や分かったことを自分の言葉で書き、またその内容をグループで交流させ、友達の意見を聞きながら個々の考えを深める。		
体育	○どの運動に対しても意欲的に取り組む児童が多い。めあてもって取り組むことを意識させる。 ○ボールを投げたりけったりする運動や、走る運動などの技能が低い児童がいる。	○自らめあてをもち、基本的な動きを体得するとともに、運動することを楽しさや喜びを感じる児童を育てる。 ○体力テストのすべての種目において、区、都の平均を上回る	○個々にめあてをもたせるとともに、評価カードなどを用いながら、チームで互いの動きの長所や短所を観察、意見交換させたり相互評価させたりして技能を高め合う。 ○体育の時間の運動や朝の持久走などの時間に、基礎的な運動の定着、持久力の向上を図る。また、体力テストの結果をもとに、平均値が低い種目の技能向上を図る。		